

シャッフルボード

1. ゲームの概要…

シャッフルボードは、コート（セパレーショントライアングル）の反対側にある得点圏（ダイアグラム）に向かって、円盤（ディスク）をキューと呼ばれるスティックで押し進め、得点を競うゲームである。一種の陣取りゲームで、一度得点エリアにディスクが入っても、相手のディスクに押し出されると0点になってしまい、微妙な駆け引きや戦術がある知的ゲームである。力は必要としないので、子供から高齢者まで、誰にでも手軽に楽しめるスポーツである。

2. 用具

ディスク：合成樹脂製の円盤。黄色と黒色の2色で、各4枚、計8枚を使用する。

キュー：グラスファイバー製のスティックで、先端は二股になっている。

3. コート

公式試合は、公認専用コートで行われる。室内では、便宜的にカーペットコートで行われる。

4. 人数、ゲームの種類

2人から4人が正式なゲーム人数。人数が多いときは、4人対4人の簡易ゲームもできる。

シングルス：1対1

ダブルス：2対2

ラウンドロビン：1対1対1

5. ゲーム

(1) ゲームの進め方

- ①イエローディスクはコート（セパレーショントライアングル）の右側、ブラックディスクは左側に置く。
- ②ジャンケンかトスで先攻を決める。先攻の人はイエローディスク、後攻はブラックディスクが自分のディスクとなる。
- ③先攻からまず1枚のディスクをシュートし、次は後攻が自分のディスクをシュートする。これを交互に繰り返し、8枚のディスクがシュートされて、1フレームが終わる。
- ④各プレイヤーの得点の合計をスコアボードに記入する。
- ⑤第2フレームは、反対側のコートへ移動し、今度は右側にブラックディスクを、左側にイエローディスクを置き、第1フレームで後攻だったプレイヤーが、右側のブラックディスクの第1投から始める。

(2) デッドディスク

ファール・ゾーンの中で止まったディスクは、デッドディスクとなり、直ちにコート上から取り除く。

- ①デッドラインに到達しなかったディスク。
- ②ベースラインよりも、後ろのディスク。
- ③コートとガターに斜めに止まったディスク。

④ガターに落ちたディスク。

(3) 得点

①スコアリング・ダイアグラムに入っているディスクだけが得点となる。この場合、少しでもラインに触れていると、得点とみなされない。

②キッチン（10-OFF）に入っているディスクはマイナス10点となる。セパレーショントライアングルは、線ではないのでディスクが触れていてもマイナス10点となる。

6. 勝敗

フレーム制とポイント制の2つの方法がある。

フレーム制：8回、12回、16回のいずれかのフレーム数を定めて、それぞれの終了時の合計得点を競う。

ポイント制：50点、75点、100点のいずれかの点を定めて、先取した方が勝ちとなる。

7. 投げ方

①右手をのばし両肩とキューが直角になるようにセットする。

②右足を小さく踏み出した後

③左足を大きく踏み出しながらディスクを押し出す。

④ディスクは、押し出される瞬間まで、キューヘッドに接触していなければならない。